

IIT 採用事例

PART 1

IIT（インド工科大学）とは？

インド工科大学（Indian Institutes of Technology、通称IIT）は、世界最高峰の理系学生（科学者やエンジニア）を育成するために設立された大学です。入学試験は「世界で最も難しいテスト」と言われています。

モラブは2024年11月より『インドプロジェクト』を開始。高度な技術を持つIITインド工科大学人材を企業様に派遣しています。

今回は、モラブのインド人をご採用いただいたお客様の声をご紹介します！

COMPANY

株式会社菱友システム技術 様

設立 1984年4月
所在地 兵庫県神戸市
関連会社 三菱重工グループ

事業内容

- ・解析シミュレーション
- ・システム開発
- ・各種設計支援



ENGINEER

2024年11月 出向開始

ラーマンアルカム & ビシュノイニティシュ

担当業務

物流業界向けAIシステムや社会インフラ向けシステムのソフト設計開発業務



ラーマン
アルカム

卒業校

IITデリー校
生化学工学・バイオ
テクノロジー専攻



ビシュノイ
ニティシュ

卒業校

IITデリー校
制御&オートメー
ション専攻

Inter view



インド人の良いところは？

勤勉なところですよ。不明点や次にやることを積極的に聞いてきたり、自発的に調べて解決することができる方たちです。就業面に関してもしっかりと守ってくれています。

コミュニケーションについて

日本語はまだ難しいですが、社内では便利な翻訳ツールがありますので、それほど問題になっていません。元々コミュニケーション力の高い方たちですので、何とかして意思疎通を図ろうという意欲が見えます。なのであまり心配はありませんでした。インド人の取り組みは社内でも注目されています。日本語能力試験N2、N3ぐらいあれば他部署にもインド人を展開できるでしょう。

業務上の課題

インド人社員2名より、以下のような課題や要望が挙がりました。

⊖ 業務の専門性を深めにくい・仕事の全体像を示してほしい

今は色々な工程を敢えて断片的にお渡ししているのが短期プロジェクトのように感じられているかもしれませんが、実際は数年単位の長期プロジェクトの方が多いです。

全体に関する話は定例会議でよく出ているので、会議に出席していただくことで全容が理解できるようになると思います。状況が分からない時は聞いてくれればいくらでも答えます。

今後、スキルアップが出来れば、更に大きな機能を任せていきたいと考えています。やりたいことや疑問に感じることは積極的に言ってきてもらえたら、現状が変わる可能性があります。

モラブのフォロー体制について

事前にインド人の性格や文化の違いについての説明やWebでの顔合わせがあったりしたので体制を整えることができました。出向開始後も定期的な座談会があるので助かりました。おかげで、インド人の考え方や習慣をスムーズに受け入れることができました。モラブさんはメンターと一緒に手厚くスタッフフォローをしてもらえるので、心強いです。

外国人登用を検討中の企業様へ メッセージ

今の日本は人手不足で業務が回らなくなってきています。そこで外国人技術者を採用することにしました。モラブさんはサポートがしっかりしているので安心して迎え入れることができました。採用にお悩みの企業様はぜひご検討ください。